

認定こども園

遊んで学ぶ 学んで育つ

～小さな冒険はじめよう～

帯広の森幼稚園



園長便り

令和2年度 No.16 (2020年12月10日発行)

園長：今野隆雄

もうすぐ
待ちに待った楽しい

冬休み

一人一人の子ども達が、どの子どもみんな、
「思いっきり!」「思う存分!」「力いっぱい!」

一生懸命頑張った発表会。そして、沢山の感動場面が見られた「感動のステージ!」。どの学年の練習過程でも多くの感動・感激場面が創られ、展開された「感動のドラマ!」。それらを成し遂げ、そして、獲得した一人一人の子ども達と先生方の「達成感」「満足感」「充実感」「連帯感」が、今後の保育活動・教育活動への大きなエネルギーとなって、保育・教育活動への質的改善・向上へと機能していくことと思います。



さて、やがて幼稚園では、12月23日(水)終園式を迎え、12月24日(木)～1月17日(日)迄、25日間の冬休みに入ります。



夏休みには「園長先生との四つのおやくそく」をして、夏休みを過ごしてもらいました。冬休みにも、四つのおやくそくをして、楽しい有意義な冬休みを過ごして欲しいと思います。もちろん、現在新型コロナウイルスが異常なまで感染が拡大していますので、幼稚園生活と同じように「うがい」「手洗い」「マスク」、適切な「換気」と「湿度」、適度の「運動」等々…を心掛けるよう気を付けて下さい。

～季節の暦～二十四節気のひとつ

「大雪」(たいせつ) 12月7日～12月20日頃

山の峰が積雪に覆われているので、大雪といいます。平地も北風が吹き荒れて、いよいよ冬将軍の到来が感じられます。鱒や鱈魚が盛んになり、南天の実が赤く色づく時節です。

「冬至」(とうじ) 12月21日～1月4日頃

北半球では一年中で最も昼の短い日です。この頃から次第に寒さが厳しくなり、本格的な冬将軍が到来する時季になります。また、各地で小豆粥やかぼちゃを食べ、ゆず湯に入るなどして健康を願う風習があります。



四つのおやくそく

1 『生活リズム』 早ね、早起き、しっかり朝ごはん

幼稚園に通園している時と同じように、毎日の生活リズムを守って、規則正しい生活を送りましょう。

2 『お家の手伝い 何か一つ』

長い休みでないと継続できない“家族の一員”としての「お家でのお手伝い」をしましょう。これはお家の人とお話しし、相談して、お家のお手伝いを何か一つ決めて「継続」して、頑張してほしいと思います。

3 『絵本との触れ合いを大切に』

絵本の魅力を伝えるスペシャリスト 十勝で唯一の絵本専門士 水野有子さん！

その魅力について水野さんは、息長く親しまれ、幅広い世代が楽しめる絵本、子どもの物と思われがちですが、絵本の深い物語を紹介すると、「こんなに面白いのか」と興味を持つお年寄りもいます。大人になって改めて読むと、癒されたり、新しい発見をしたりと受取り方が変わっていきます。教訓を押しつけるのではなく「静かに語り掛けてくれるところがとても良いところです…」と水野さんはおっしゃっています。

「癒やしや発見」

「世代を超える物語」

絵本は『世界を知るための扉』



4 『コロナに負けない丈夫な体』

天気の良い日には外でお日様に当たって、コロナウイルスに負けない丈夫な体にして下さい。外で遊ぶ時には、おうちの人とよく相談をしてから、近くの公園や広場で遊ぶようにして下さい。「交通事故」に遭わない様に、近くの公園か広場で遊ぶようにしましょう。

～四つのおやくそくを守って、楽しい冬休みを過ごして下さい。～

ありがとうございました。

11月24日（火）～12月3日（木）8日間に渡っての面談が終了致しました。お忙しい中、時間を作って頂き、ありがとうございました。子ども達のお家での様子、交友関係等、子ども達を保育していく上で必要な情報、貴重なお話し等を伺い、又、クラス担任からは子ども達の幼稚園での様子等をお話しさせて頂きました。

一人一人の子ども達の最善の幸福を実現していくために、保護者の皆さんと担任とが、子ども達について共通理解し、共有することは望ましい教育活動の推進に欠かすことのできないことです。今後も保護者の皆さんと密になる連携を保ちながら、明るく笑顔の見られる子ども達の「成長」「発達」に頑張りたいと思っていますので、皆さんのご支援とご協力をお願い致します。

また、発表会についてもたくさんの方の貴重なご意見を頂くことができました。ありがとうございました。参考にさせて頂き、今後活かしていきたいと思っております。